令和3年4月15日発行　2021年4月号　小淀ホーム広報誌　通巻85号

寿楽 小淀ホーム

KOYODO HOME

JYURAKU Since 1996

令和3年4月号

神田川までお花見に行きました

今年は新型コロナウィルス感染症対策のため、バスに乗車しての桜の名所巡りは行えませんでしたが、近くの神田川まで職員とお花見に行きました。
ぽかぽかと春の温かい陽気の中、満開の桜をゆっくり見てきました。
桜がきれいに咲いている場所で記念撮影を行い、皆様とても喜ばれていました！！

お花見

～特養～

神田川沿い

ホーム内 お花見会場

今年は神田川沿いの桜並木と、職員がホーム内に設営したお花見会場の2箇所で、お花見を楽しみました

神田川沿いのお花見は2年ぶりでしたので「また見られて嬉しいわ」「連れてきてくれて、ありがとう」「風が気持ちいい」など感想をいただきました。

ホーム内のお花見会場には『染井吉野・啓翁桜・雅桜』の3種類をご用意。同時に3種類の桜を楽しむことができ、皆様「キレイねぇ」「いろんな桜があるのね」などと喜ばれていました。

～特養～

夢の実現　カラオケ

3月28日(日)にデイルームにて、カラオケ大会を行いました。
今回は６名の方にご参加いただき、お互いの距離を十分に取りながら、懐かしの歌謡曲や演歌等たっぷりと歌っていただきました。皆様「久し振りに大きな声を出して歌ったわ」「やっぱり歌うと元気になるね」と楽しまれていました。最後に童謡『ふるさと』を歌った後、テーブルに移動してお茶とお饅頭を召し上がっていただきました。
※感染対策として手指・マイクの消毒を行い、カラオケ大会を実施しました。

～デイサービス～

★おやつ作り★

3月22日(月)におやつ作りとして『ぼたもち』を作りました。
職員と手順を確認しながら、もち米をあんこで包んだり、きな粉を振りかけたりなど、皆様とても楽しそうに行っていました。
「久しぶりに作ったわ」「早く食べたいわね」など感想をいただき、出来上がったぼたもちは“あっ”という間にお腹の中に・・・。
職員が完成写真を撮る前にぼたもちは、ほとんどなくなっていました！！
※感染対策として手指消毒、手袋・マスク着用の上、おやつ作りを実施しました。

令和3年度事業計画

今年度は以下の事業計画に則り、実施していきます。

1．運営理念

「スマイル小淀！私たち自身が受けたいサービスを、必要とする人に届けます」

2．小淀ホームの将来の姿

小淀ホームは、利用者の尊厳を大切にした質の高いチームケアを提供し、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域の拠点となる多機能施設になります。

3．小淀ホームの将来の姿

小淀ホームは、利用者の尊厳を大切にした質の高いチームケアを提供し、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域の拠点となる多機能施設になります。

ア）人材の確保（採用・育成・定着）のための取り組み
介護人材の確保は困難な状況が続いています。さらに新型コロナウイルスによる感染防止対策も講じる必要があり、業務に対する負担感は一層大きくなりました。こうした状況を改善するため、統一した育成マニュアルに沿った指導を徹底することで安定的な職員育成を実施します。また、働きやすい職場環境の整備、業務の効率化のために、ICT機器の導入、機械浴槽の更新、抱え上げない介護推進のためのリフト機器導入を実施します。

イ）安定した経営を実現するための取り組み
令和2年度に特別養護老人ホームを13ベッド増床し、ショートステイを含めて77床になりました。運営状況を適宜確認の上、安定した経営に努めます。また、令和3年度は介護報酬の改定と未だ収束の兆しが見えない新型コロナウイルスによる感染予防の対策を講じてまいります。災害や感染への対策のための訓練を実施し対応力を高めます。

ウ）個別ケアを基本とした利用者サービスの提供
小淀ホームは、地域の高齢者ケア・認知症ケアの拠点となる多機能施設をめざしています。職員一人一人が介護・福祉の専門職として知識や技術を向上させるため基礎からの知識や技術をしっかりと学び、実践できる取り組みを進めます。

エ）在宅生活及び認知症支援の拠点とし地域に貢献する活動の実践
令和2年度は新型コロナウイルスによる感染症の拡大により、十分な地域活動を行うことができませんでした。令和3年度は感染予防を徹底しながら、地域活動の再開を目指します。